

施工手順書③-3

扉・金物の取付

2・3枚引込み戸(上吊・連動)

3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 開き戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊)

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆりみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



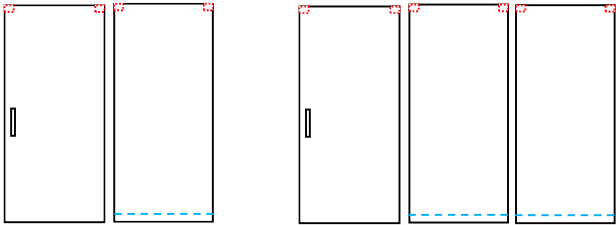
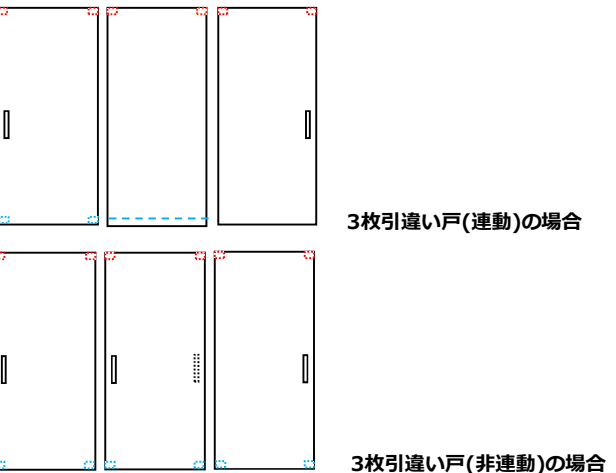
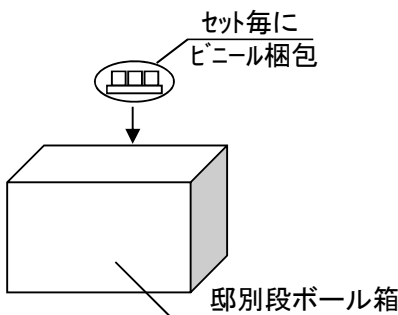
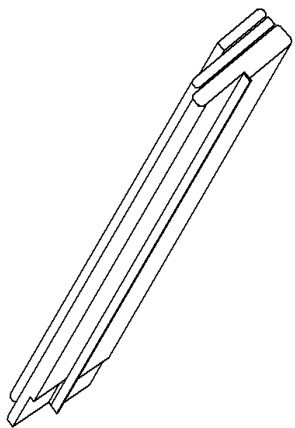
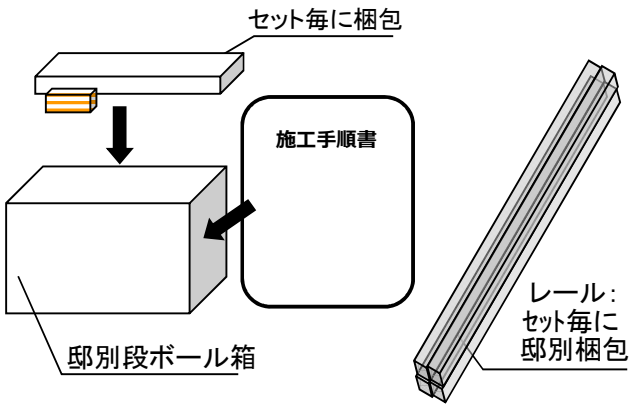
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

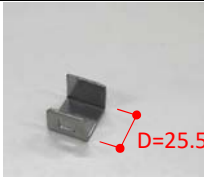
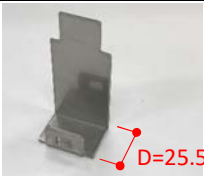
□納品形態

扉と同時に納品されるもの	
建具	建具金物箱
 2枚引込み戸の場合 3枚引込み戸の場合  3枚引違い戸(連動)の場合 3枚引違い戸(非連動)の場合  ケーシング(旧名称:固定カップ)取付済  引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし)  シンクロユニット金物取付済み  戸車取付済み	 セット毎にビニール梱包 邸別段ボール箱
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱とレール
	 セット毎に梱包 施工手順書 邸別段ボール箱 レール: セット毎に邸別梱包

□金物箱の梱包内容

下地金物箱	2枚引込み戸	3枚引込み戸	3枚引違い戸 (連動)	3枚引違い戸 (非連動)	
上レール  ※トリガー加工有り 1本(付属ビス含む)	1本	1本	2本	—	
上レール  ※トリガー加工無し 1本(付属ビス含む)	1本	2本	1本	3本	
デュアルソフトクローザー 	1個	1個	2個	—	
上ローラー (跳ね返し防止ナット付) 	3個	5個	4個	—	
上ローラー (跳ね返し防止ナット無) 	—	—	—	6個	
トリガー 	1セット	1セット	2セット	—	
エンドプレート  2ヶ(ビス2本付) 23mm	4個	6個	6個	6個	
スパナ 	1本	1本	1本	—	
化粧キャップ 	4個	6個	6個	6個	
キャッチ金物 	2個	4個	2個	—	

□金物箱の梱包内容

下地金物箱		2枚引込み戸	3枚引込み戸	3枚引違い戸 (連動)	3枚引違い戸 (非連動)	
ジョイント金物 (刻印1-31.5) ※マルコシリーズ(刻印1-29) D=23		2個	2個	2個	—	
J型ジョイント金物 (刻印1-31.5J) ※マルコシリーズ(刻印1-29J) D=23		—	2個	—	—	
床付レール(面付)  (付属ビス含む)	床付レール(埋込V) 	—	—	1本	3本	※「面付」or「埋込V」は注文の際に選択してください
上部ストッパー 		—	—	—	6個	
調整ビス【標準】 スペーサー1ヶ付 	コスレッド®ビス【準耐火】 	14本	14本	28本	28本	

建具金物箱	2枚引込み戸	3枚引込み戸	3枚引違い戸 (連動)	3枚引違い戸 (非連動)	
設定無し	—	—	—	—	

上レール、トリガーの取付

上レールを取り付ける際、上レールの
長手・短手、戸先側・戸尻側の向きに
注意し、右表のとおり各開閉様式に応
じた金物を上レール内部に入れ、付属
ねじで上レールを固定してください。

【注意事項】

※上レールはプレカット、穴加工済みで納品されます。

また、上レールには向きがわかるよう
にレールの裏側端部に「戸尻側」と表
記したシールが貼ってあります。

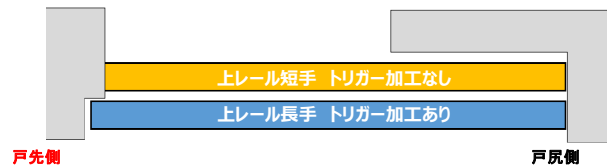
※ソフトクローザーの誤作動の原因となりますので、上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りが無いように注意してください。

※エンドプレートがある場合は上レール端部に両面テープで仮止めし、付属ねじで固定してください。

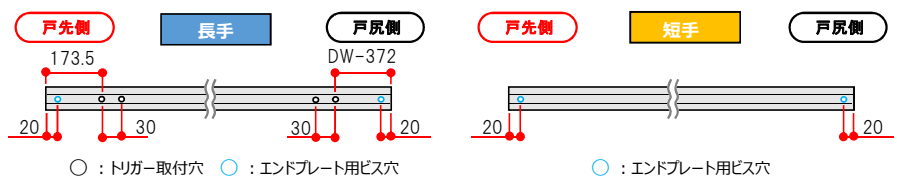
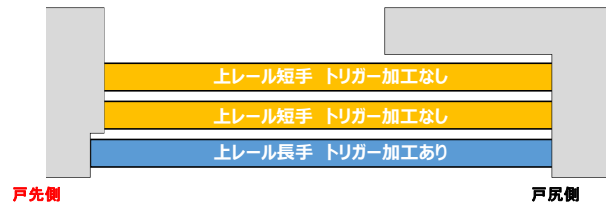
※トリガー取付穴に上レール固定ねじを取付けないでください。

※上レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

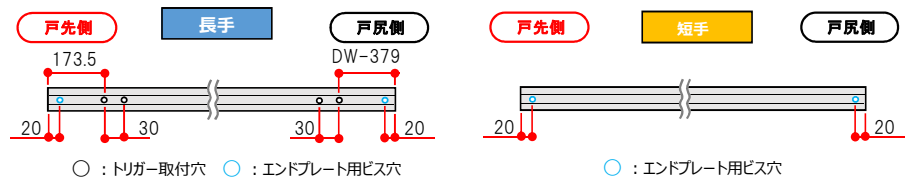
【2枚引込み戸(連動)】



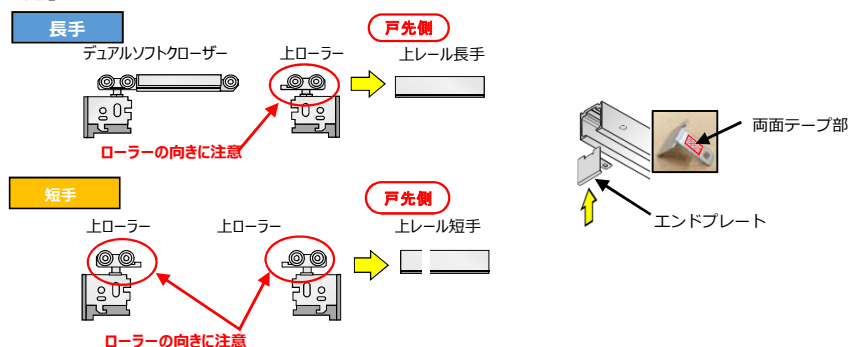
【3枚引込み戸(連動)】



【3枚引違い戸(連動)】

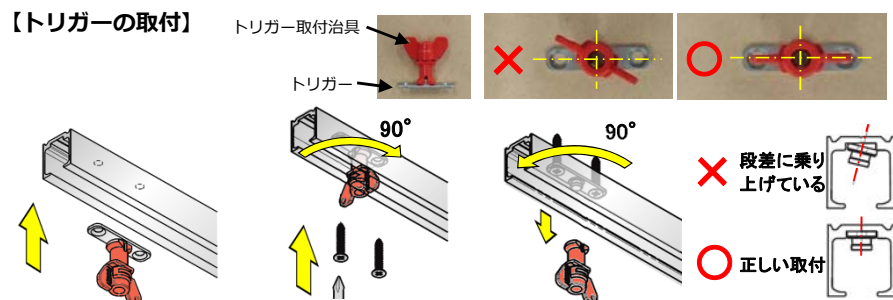


【共通】



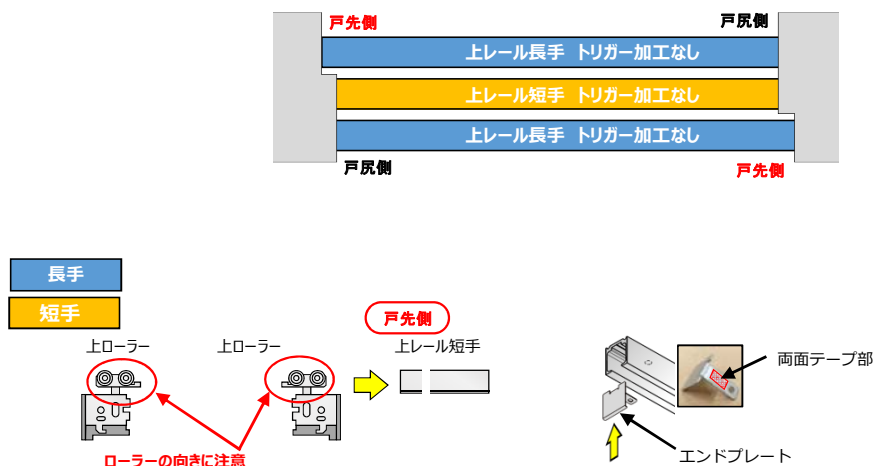
トリガーを取付治具にセットし、トリガー取付穴に合せてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。取付治具は元の向きに戻すと外れます。

【トリガーの取付】



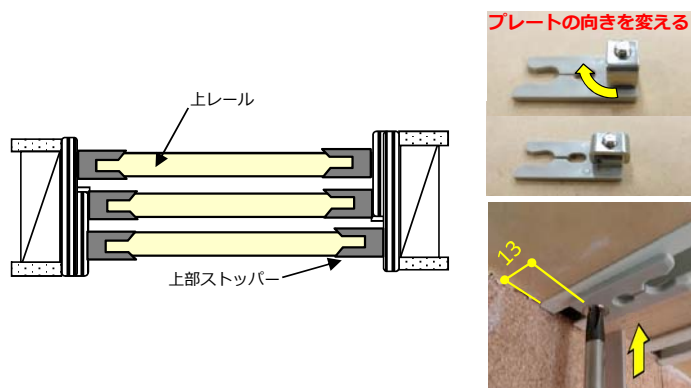
上レール、上部ストッパーの取付

【3枚引違い戸(非連動)】



上部ストッパーを3枚の建具すべての上レール戸先側・戸尻側に手動ドライバーで取付けます。

【上部ストッパーの取付】



床付レールの取付

右表のとおり各納まりに応じた床付レールを取付けます。

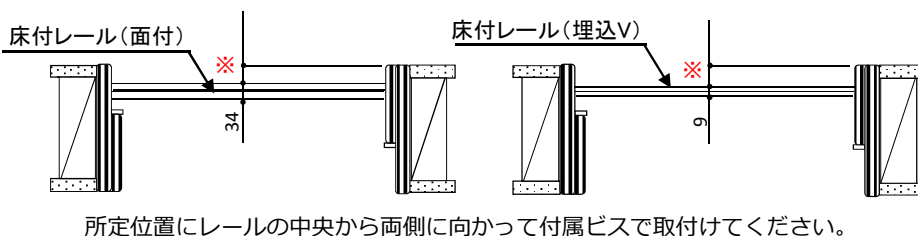
【注意事項】

※取付位置は邸別(開口毎)の納まり図でご確認ください。

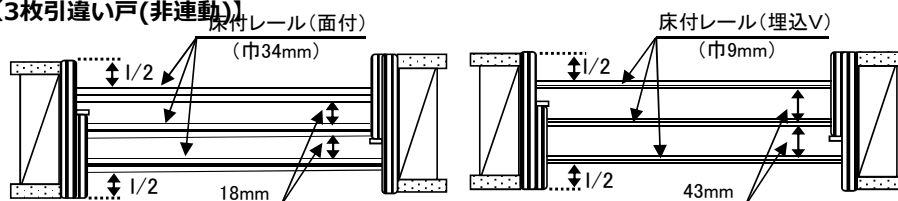
※床付レール(面付)の取付の場合、①レールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。②床材の伸縮によりレールが浮いた時は、一度取外し、必要に応じレール裏面に両面テープ(現場手配)を付けてください。

※床付レール(埋込V)で溝巾が広くなり、レールが外れてしまう場合は、両面テープ(現場手配)をレールの底面に貼り付けてからビス留めしてください。

【3枚引違い戸(連動)】



【3枚引違い戸(非連動)】



所定位置に当て木をして、溝に埋め込んでください。

キャッチ金物・ジョイント金物の取付

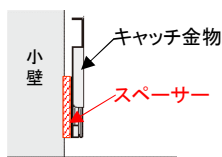
右表のとおり各納まりに応じキャッチ金物を扉、小壁に取付けます。

【注意事項】

※小壁に取付の場合、**小壁の端から29mm床仕上げから14.5mm**の位置に取付けてください。

※扉には取付用の下穴加工があります。

※塗り壁の場合、スペーサー付きのキャッチ金物を小壁に取り付けてください。

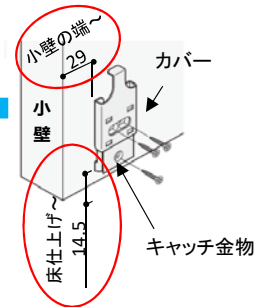
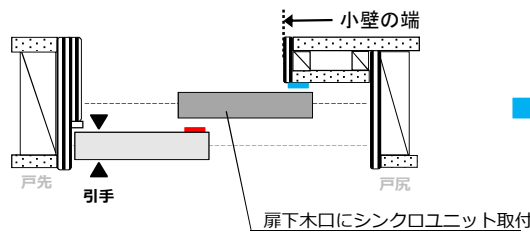


※キャッチ金物のねじの締め過ぎがあると樹脂が変形し、カバーが下がらなくなる恐れがあります。

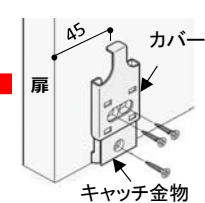
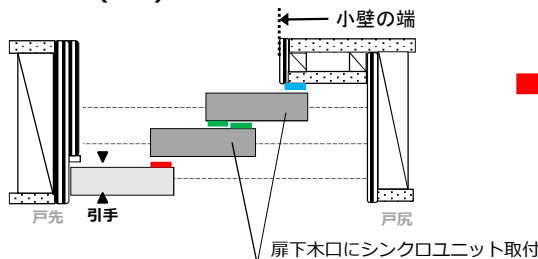
※ねじ頭が浮くとカバーが下がらなくなる恐れがあります。

※キャッチ金物のカバーは下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。

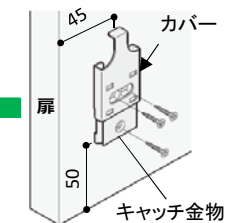
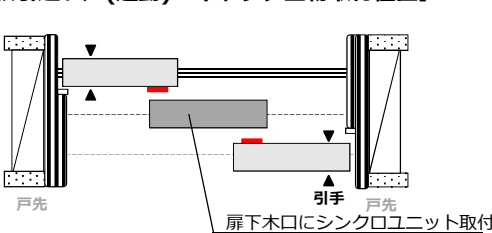
【2枚引込み戸(連動)・キャッチ金物取付位置】



【3枚引込み戸(連動)・キャッチ金物取付位置】



【3枚引違い戸(連動)・キャッチ金物取付位置】



【ポイント】キャッチ金物を取付後、カバーが下がるか確認し、再び上げておく。

右表のとおり各納まりに応じ、扉下木口に取付済みのシンクロユニットの-sliderにジョイント金物、J型ジョイント金物を取付けます。

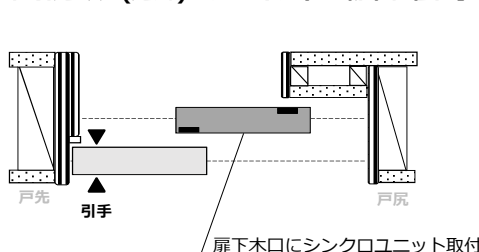
【注意事項】

※ジョイント金物取付後は、扉を立てた状態で床置きしないでください。sliderに負荷が掛かり破損の恐れがあります。扉を立てる場合は、当て木等でジョイント金物に直接負荷が掛からないように置いてください。

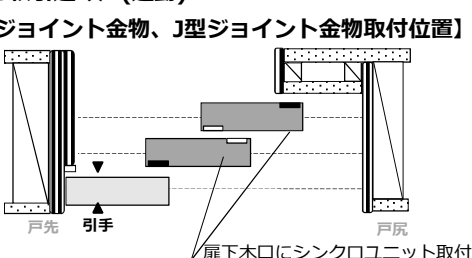
※ジョイント金物を取り外す場合



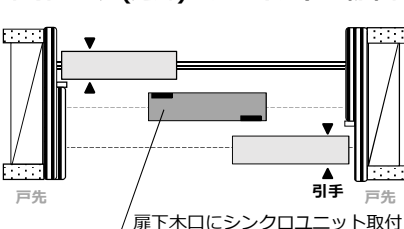
【2枚引込み戸(連動)・ジョイント金物取付位置】



【3枚引込み戸(連動)・ジョイント金物、J型ジョイント金物取付位置】



【3枚引違い戸(連動)・ジョイント金物取付位置】

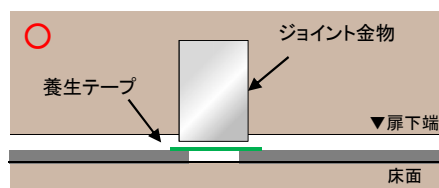
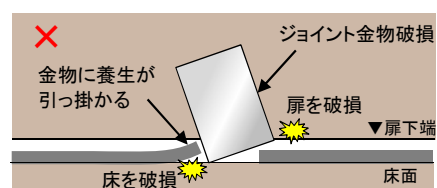


【ポイント】ジョイント金物は穴が空いている方をsliderに差し込む。

ドア開口の床面に養生をする場合の注意事項

養生が浮き上がらないように、ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付けてください。

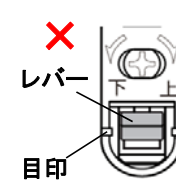
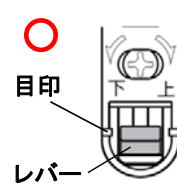
養生が扉の連動金物に引っ掛かると扉や床を傷付け、ジョイント金物等が破損する原因となります。



扉の吊り込み【2枚引込み戸(連動)】

奥扉（扉下木口にシンクロユニット付）、手前扉の順番で上レールの上ローラーと扉上部のケーシングを連結させて吊り込みます。

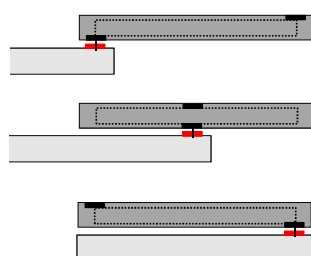
【共通】



右表のとおり納まりに応じ、キャッチ金物とジョイント金物(またはJ型ジョイント金物)を連結してください。

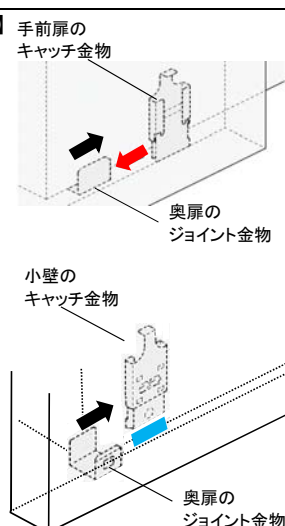
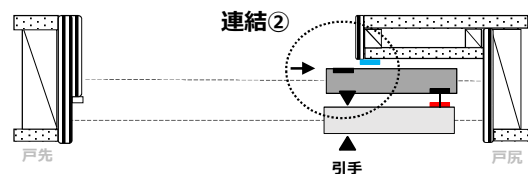
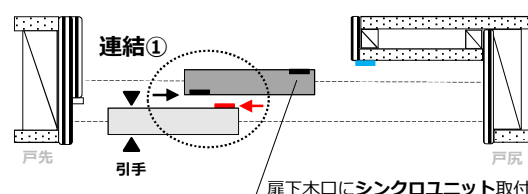
連結①：扉同士の連結
連結②：扉と小壁の連結

【シンクロユニットの特徴】
ワイヤー(スライダー付)に連動して常にジョイント金物同士は対象に動きます。

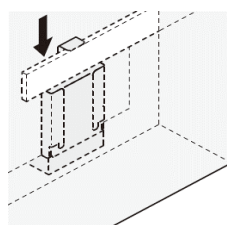


キャッチ金物とジョイント金物(またはJ型ジョイント金物)の連結完了後、建具同士、もしくは建具と小壁の隙間からドライバーや定規等で**キャッチ金物のカバー**を必ず下ろしてください。

【2枚引込み戸(連動)・キャッチ金物とジョイント金物の連結】



【2枚引込み戸(連動)・キャッチ金物のカバーを下ろして固定】



※キャッチ金物からジョイント金物を外す場合



扉の吊り込み【3枚引込み戸(連動)】

右表のとおり納まりに応じ、キャッチ金物とジョイント金物(またはJ型ジョイント金物)を連結してください。

連結①：奥扉と中央扉の連結1

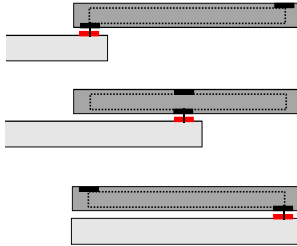
連結②：奥扉と中央扉の連結2

連結③：手前扉と中央扉の連結

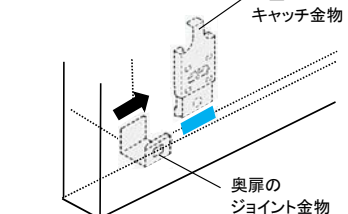
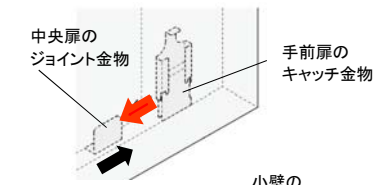
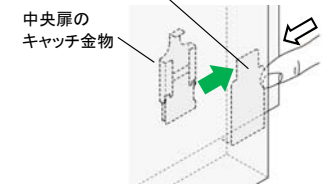
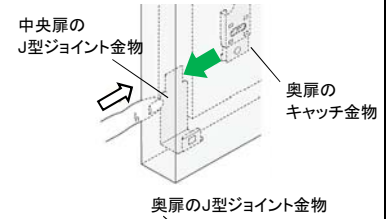
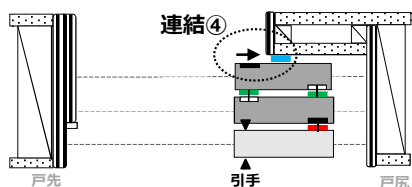
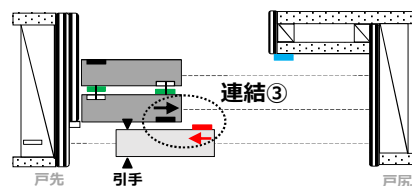
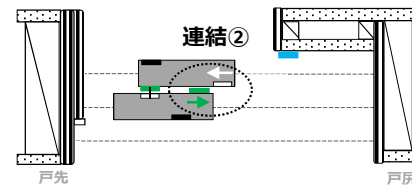
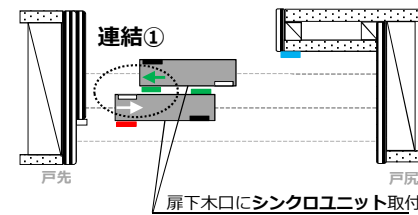
連結④：奥扉と小壁の連結

【シンクロユニットの特徴】

ワイヤー(スライダー付)に連動して常にジョイント金物同士は対象に動きます。

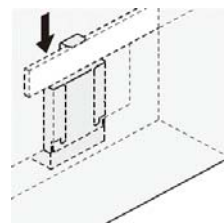


【3枚引込み戸(連動)・キャッチ金物とジョイント金物の連結】



キャッチ金物とジョイント金物(またはJ型ジョイント金物)の連結完了後、建具同士、もしくは建具と小壁の隙間からドライバーや定規等で**キャッチ金物のカバー**を必ず下ろしてください。

【3枚引込み戸(連動)・キャッチ金物のカバーを下ろして固定】



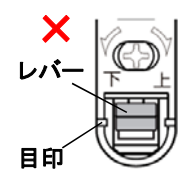
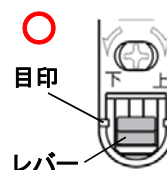
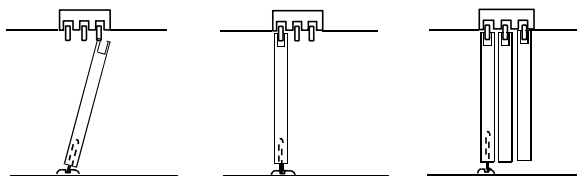
ジョイント金物をキャッチ金物のツメ部から外す

扉の吊り込み【3枚引違い戸(連動)】

戸車付きの扉から、吊り込みます。

扉の戸車を床付レールの溝にはめ込み、扉を起こしていきながら上レールの上ローラーと、扉上部のケーシングを連結させます。

次に中央扉(扉下木口にシンクロユニット付)、手前扉の順番で上レールの上ローラーと扉のケーシングを連結させて吊り込みます。



扉の吊り込み【3枚引違い戸(連動)】

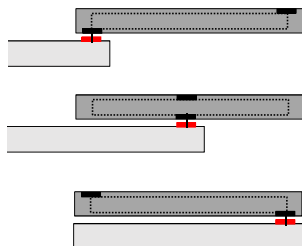
右表のとおり納まりに応じ、キャッチ金物とジョイント金物を連結してください。

連結①：戸車付扉と中央扉の連結

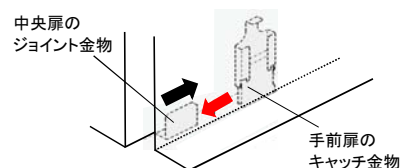
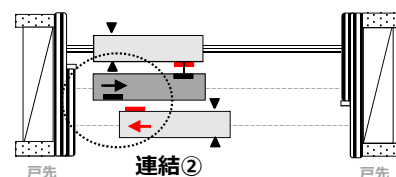
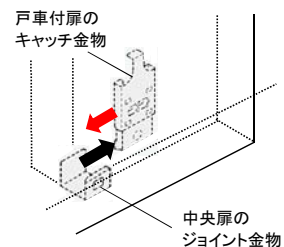
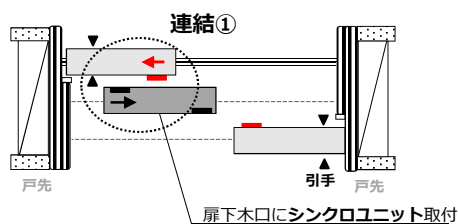
連結②：中央扉と手前扉の連結

【シンクロユニットの特徴】

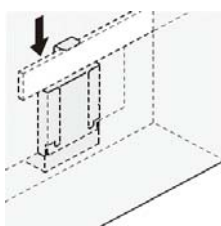
ワイヤー(スライダー付)に連動して常にジョイント金物同士は対象に動きます。



キャッチ金物とジョイント金物(またはJ型ジョイント金物)の連結完了後、建具同士、もしくは建具と小壁の隙間からドライバーや定規等で**キャッチ金物のカバー**を必ず下ろしてください。



【2枚引込み戸(連動)・キャッチ金物のカバーを下ろして固定】

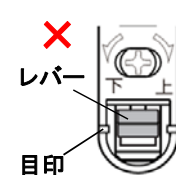
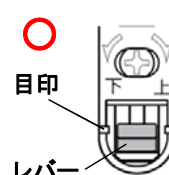
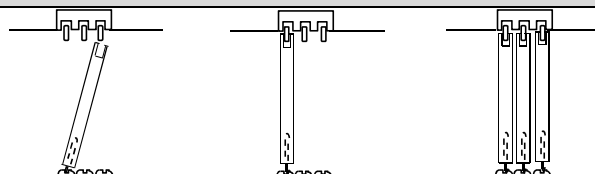


※キャッチ金物からジョイント金物を外す場合



扉の吊り込み【3枚引違い戸(非連動)】

扉の戸車を床付レールの溝にはめ込み、扉を起こしていながら上レールの上ローラーと、扉上部のケーシングを連結させます。



扉の吊り込み【共通】

吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【上ローラーの調整】



【調整範囲】

上方向3.0mm
下方向4.0mm
左右方向±2.0mm

戸車にて調整する際は、上下調整は真ん中のネジ、左右調整は下側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【戸車の調整】



【調整範囲】

上方向6.0mm
下方向0.0mm
左右方向±2mm

全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。

外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。

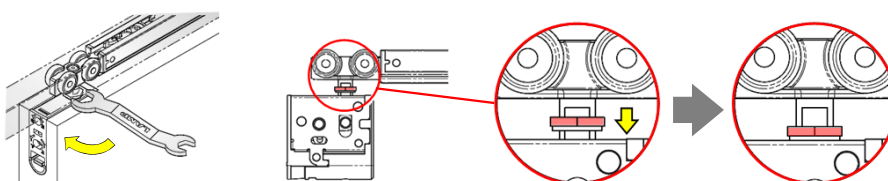
【化粧キャップの取付】



化粧キャップの外し方のコツ

両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。

【跳ね上がり防止ナットの締付】



【注意事項】

※本体に接触してからスパナで締めないでください。扉が下がり過ぎ、開閉に支障をきたす場合がございます。

【注意事項】

※金物が破損する原因となりますので、過度な勢いで扉の開閉を行わないでください。